



## 側溝・ゴミ一掃作戦

### 村あげてきれいな村づくり

昭和五十四年六月「環境美化の村」を宣言した本村は、ゴミ汚染を食い止めようとして毎年、全村あげてクリーン作戦を展開してきましたが、ことしも四月二十二日、村民総ぐるみのロードクリーンと側溝清掃を行いました。

前六時から八時まで、村内十二コースに分けて行われ、ゴミ袋を手にした村民が一斉に道路へ繰り出しました。また、午前九時から、各班共同の側溝清掃が行われ、五所川原土木事務所、村消防団員らの協力を得て一年ぶりに、きれいな側溝をとりました。

村では、ロードクリーン、海岸清掃などをふくめて、これからも継続していく考えですが、クリーン作戦に対する輪の広がりと、空き缶のポイ捨て・防止など、ドライブインへの協力を呼びかけています。



①側溝清掃は、各班の共同作業で行われ、きれいな側溝をとりました。

## 今月の主な記事

昭和59年度  
一般特別会計予算………2～5  
この人この道  
ふるさと会 結成………6  
橋公園構想………7  
出稼ぎ文集………8  
笑顔広がる  
ピッカピカの1年生………9  
役場の主な仕事………10～11  
歴史漫歩………12  
おしらせ………13  
健康への道  
戸籍………14

②国道沿いには、ビニール袋、ジュース類の空きカン、自転車、テレビなど粗大ゴミも……





常に対話を深め、生産する力を根拠にした……3月議会での施政方針を述べた三重村長

## 探究の年に

。探究の年」と位置づけた。本年は、その配慮を中心に予算編成をしましたが、低成長経済による財政事情は予想以上に厳しく、歳入歳出の大宗である地方交付税の大幅な増額は期待できる状況ではありません。しかし、住民の要請にでき

得る限り応える——という一般的な見通しの上に立つて策定しています。本年度の一般会計の予算は、歳入歳出それぞれ十四億一千万円で、前年度当初に比較すると四千四百万円増、伸び率は三・二割となりました。

### 施政方針

### 生産倍増で

### 経済の活性化を図る

本村は年々人口が減少し、過疎化が進行していますが、若者が定住し、活力と生気の満ちあふれた村、老人をいたわり、近隣相互の親睦の厚い村として生産する力を根拠にした活性化社会を創り出そうというのが私の呼びかけであります。

「海と山と湖」は、本村発展のまぐらことば。として使われ、村民の間に心の了解がとけ、思いが通じますが、海と山と湖。この無限の宝庫を秘めた資源を全村民あわせて活用したとき、他町村にはできない発展が期待されると

思います。私は、一次産業の倍増を基本にかけたいと思いますが、単に所得を倍増することではなく、海で、山で、そして湖で汗を流してみんなが働くことこそ

現在の経済的なシステムからして、出極きは自分の国民的コンセンサスのもとで続くものと思う。私の考えている二人雇用は、将来を担う若い人たちにいかにか定着させるかがその目的であります。これは、単に企業を誘致するだけでなく、一次産業を加工する地場産業型雇用の場の開発も重要な施策として努力しております。

こうした社会、村をつくり出すための施策として、「一次産業の生産倍増、二百人雇用の場の創出」を基本として政策の展開をしたいと存じております。

私は、一次産業の倍増を基本にかけたいと思いますが、単に所得を倍増することではなく、海で、山で、そして湖で汗を流してみんなが働くことこそ

## 目的別の 主な予算

### 総務費



204,158千円  
(180,568千円)

昭和五十九年度一般会計歳出予算の主なるものを、目的別にお知らせします。  
（単位：千円）（内は前年度当初予算）

総務費については、職員給与費等一般管理費を中心に計上していますが、第二次長

- ▽ 財政管理費三百九十九万円
- ▽ 広報広聴費二百九十万円
- ▽ 財産管理費七百八十三万円
- ▽ 企画費五百九十九万円
- ▽ 総務管理費 一億七千二百六十三万七千円
- ▽ 一般管理費 一億四千七百四十九万八千円
- ▽ 広報広聴費 二百九十万円
- ▽ 財産管理費 七百八十三万円
- ▽ 企画費 五百九十九万円

- 交通安全対策費二百七十七万円
- ▽ ふるさと定住対策費三百二十八万七千円
- ▽ 産業振興センター運営費十九万八千円
- ▽ 津波の甚建設事業費二百三十三万三千円
- ▽ 徴税費 一千三十六万六千円（納税貯蓄組合補助金二百十八万六千円）
- ▽ 戸籍住民基本台帳費 八百八十一万六千円

### 民生費



148,010千円  
(135,140千円)

民生費は、前年度当初予算に比して一千七百十三万円の減額になっていますが、特に



農林水産業費



□農業費 二億三千九百六十六万六千円▽農業委員費六千三百二十九万四千円▽農業専門員賃金百八十一万二千円(農業委員費金百八十一万二千円)▽農業者特別会計繰入金四百八十六万八千円▽地域農政推進費百六十四万二千円(地域農業集約育成事業補助金八十万円)▽畑作振興費三百九十三万五千円▽野菜産地開発育成事業補助金五十三万二千円▽ニンニク種子購入補助金七十万円▽畑作改良資材購入補助金六十三万五千円▽新地域農業推進費九十万一千円(高効率農業生産組織育成事業補助金五十八万六千円)▽同育成指導補助金十六万三千円▽稲作振興費六十三万五千円▽水田利用再編対策費一千万四万四千元▽水田飼料作物作付推進用肥育素牛導入事業補助金四百五十万円▽稲作復播奨励補助金五百五十万円

団転作等推進補助金四百二十二万三千円  
 □畜産業費五千六百五十八万二千円(肥料一千万九千六百四十四円)▽育成セクター運営費百七十三万三千円▽農用地高度利用促進事業費二百六十八万八千三百円▽ため池整備費三千五百万円(山王坊、湯の沢ため池整備)▽山村広場施設整備費三千五百万円  
 □林業費 百七十六万一千円  
 □水産業費 七百二十五万二千円▽水産総務費六十四万五千円▽水産振興費二百八万五千円▽さけ・ます増殖振興費四百五十二万七千円

消防費



□消防費 八千七百七十六万九千七百九十九円(津軽北郡消防事務組合負担金五百八十五万六千円)▽市浦分署負担金六百四十二万二千九百九十九円▽非常備消防費六百二十九万円▽消防施設費四百二十万円

教育費

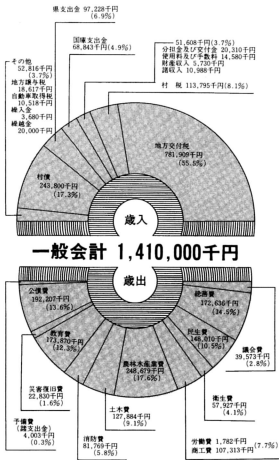


□教育総務費 三千六百六十八千円▽事務局費三千五百二十一万一千円  
 □小学校費 三千八十七万九千円▽相内小学校六百五十三千円▽太田小学校二百七十四万八千円▽脇元小学校一千三百三十三万六千円▽

グラフで見る当初予算

—いつもいひとづくり—

一般会計予算をグラフに表してみました。市浦村の昭和59年度一般会計予算は、歳入歳出とも総額14億1千万円で、前年度当初予算に比べ4千4百万円増えました。14億1千万円の子算額を「いつもいひとづくり」とゴロ合わせをしてみましたが、いかがでしょうか。



十三小学校四百五十九万円、  
 □教育振興費四百七十八万三  
 千円。  
 □中学校費 四千九百六十七  
 千円▽学校管理費一千三百  
 六十九万四千円▽教育振興  
 費四百四十二千円▽寄附舎運  
 営費三千三百一十一千円  
 □高等学校費 二十七万九千  
 九百円▽学校管理費二百三  
 十八万八千円▽教育振興費  
 二十一万一千円  
 □社会教育費 一千百八十四  
 万円▽社会教育総務費二百  
 七十一万二千円▽公民館費  
 百九十七万九千円▽文化財保  
 護費二十一万九千円、▽コミ  
 ユニティセンター運営費六  
 百万円(ふるさとまつり二十  
 四万円)  
 □保健体育費 四千三百三十  
 一万七千円▽保健体育総務  
 費二百三十六万三千円(市浦  
 村体育協会補助金三十万円  
 村民体育大会補助金三十一万  
 円、陸奥湾一周駅伝大会補助  
 金二十八万二千円)▽学校  
 給食費三千五百二十万円(給  
 食用備品八十一万二千円)▽  
 学校保健管理費九十五万三千  
 円(耳鼻咽喉科検査、尿検査  
 委託料等)▽海洋センター運  
 営費四百八十八万一千円(教育  
 委員会バス運転手賃金百二十  
 八万三千円、その他維持管理  
 委託料等)  
 □災害復旧費 二千二百八十  
 三万円▽農林水産施設災害  
 復旧費二千二百八十二万四  
 千五百八十八円、二千二百一十  
 七千円  
 □公債費 一億九千二百二十  
 万七千円  
 ■予備費 四百万円

# 特別会計

特別会計とは、役場（地方公共団体）が特殊な目的のために行う事業の収入、支出を一般会計からきりはなしで個別に運営するために設けられている会計です。

現在、村には簡易水道事業、国民健康保険・直営診療施設勘定、老人保健、農業共済事業・財産区特別会計等があります。

## 国民健康保険



192,219千円  
(174,000千円)

# 繰入金等でやりくり 保険税は微増に押える

事業勘定の歳入歳出計算の総額は、一億九千二百二十一万九千円、直営診療施設勘定の歳入歳出計算の総額はそれぞれ一億九千五百二十万二千円、事業勘定では、前年度当初より十一割の伸びとなっていますが、歳入においては、国民健康保険税の収入額が現年度課税分として七百六十五万九千円、滞納繰越分百四十八万三千円、合わせて七百三十四万二千円を計上しており、前年度に比較して一千七百七十万三千円の増となっています。

繰越金としては、昭和五十八年度決算剰余金繰越が六百万円となりますが、国庫支出金が二割増しか見込めないため、繰入金や財政調整基金等で調整し、保険税の増額はできるだけ押えたいと考えております。

## 給付費は 十七％の伸び

歳出では、総務費が二千三百七十九万二千円で、前年度

当初より三百六十四万九千円の増となっています。主な理由としては、人件費二百七十三万八千円、その他物件費が九十一万二千円の増額となっています。

保険給付費は、一億二千六百三十三万二千円で、前年度と比較すると、療養給付費及び高額療養費の伸び等から一千八百五十万一千円の増加となり、十七割の伸びとなっています。

## 診療施設勘定



100,952千円  
(94,574千円)

## 経営努力を 高める

直営診療所の予算は、一億九千五百二十万二千円で、前年度比六・七割の伸びでありました。歳入では、診療収入が九千四百一十七万一千円で、外来収入は七千七百七十三千円、歯科診療収入二千二百九十八千円を見込んでいます。使用料手数料二十五万円、事業勘定繰入金は六百五十万円、諸取

入三万円をそれぞれ計上しています。

昭和五十八年度では、一般会計より当初から一千万円を繰り入れ残していましたが、本年度は診療所本来の経営努力を高める意味で、当初予算では科目設定にとどめることにしています。

歳出では、総務費が六千六百三十四万四千円で、前年度比九・二割の増加。このうち人件費が五千三百三十万一千円、総務費の八十三・四割を占めています。

医療費は二千三百六十八万二千円で、医療に関する薬品代、その他の経費が含まれています。施設整備費は、修繕料、工事請負費等六十二万五千円を計上しています。

## 簡易水道



10,132千円  
(9,068千円)

## 一般会計から 二千九百万円繰入れ

簡易水道特別会計は、歳入歳出とも一億一千三十三万

円です。その主なものは、塩元浄水場の施設が老朽化し、手動運転となっているので、管理費の節減をはかるために、本年度から二年継続事業で改良工事に着手し、その所要経費として五千四百四十万円計上しています。

また、日本海中部地震により被災した羽黑橋が本年度より更新する予定であり、水道管の

## 老人保険



110,322千円  
(113,031千円)

## 対象受給者は 三百三十二人

老人保健法による対象被保険者は、七十歳以上の老人と六十五歳以上七十歳未満のひとり暮らしの老人です。

老人保健特別会計の歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ一億一千八百二十万二千円となっていますが、歳入については、老人保健支弁見込額一億一千五百五十万円の割増（七千七百三十八万五千円）が社会保険支払基金から交付され、

架け替え経費として二百三十一万四千円を計上しました。簡易水道特別会計は、独立採算制が建前ですが諸情勢により給水料金の値上げもできないことから、赤字補填のため一般会計より二千九百万円を繰り入れていますが、今後も給水普及率の向上と管理経費の節減に努力するつもりです。

二割の二千二百一十一万円が国庫支出金として交付されます。残りの一割については、県と村が二分の一（五百五十二万七千円）ずつ負担することになります。

歳出については、対象受給者を前年度並みに三百三十二人を見込んでおり、受給者一人当たりの支弁額も二百三十三千円としています。

四月～：昭和五十九年度ははじまりました。村の財政事情を理解していただくため、村長の提案理由の概要と目的別一般会計、特別会計の状況を特集しました。目的別項目に掲載した顔写真は、村内各保育所の子供たちです。

# プレゼントありがとう 新入学児童へ

## 黄色の雨傘

―十三工業の高橋さん―

十三工業の高橋信男社長は、新入学児童を交通事故から守ってくださいます。黄色の雨傘をプレゼントし、喜びを語っています。

四月六日役場を訪れた高橋さんは、三重県村長に新入学児童六十八人と、子供合わせ

せて七十三本の雨傘の目録を手渡し、三重村長が「黄色い雨傘を交通事故防止に役立てよう努めます」とお礼の言葉を述べました。

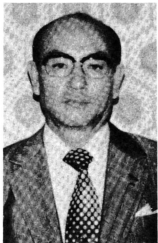
黄色い雨傘は、四月七日村内一斉に行われた入学式の席上、各学校長から新入学児童

一人一人に手渡されました。高橋さんが新入学児童の交通事故防止を願ひ、贈り物を続けて六年目。

交通安全ランドセルカバーなどプレゼントしていますが、十三小学校には、高橋文庫を設置し、毎年図書も補充も続けています。



新入学児童を交通事故から守ってくださいます。目録を手渡しした高橋さん(左)



吉田工業KK 取締役社長 吉田秀太郎さん  
〈相内出身・弘前市在住〉

## ふるさとを思う心

百万人の人に百万人の母があるように、人にはそれぞれ生まれ育った「ふるさと」があります。

幼くして旅に出されながらくじけることなく、持ち前の

粘り強い心となゆまぬ努力と勉学に励み、年商三十億円をこえる大会社を築きあげた吉田秀太郎さんにとっては、ふるさととの山河はことのほか、なつかしく思われるに違いない。一代で身上を築きあげた人は孤独で、人づきあいが悪いとよく言われますが、吉田さんの熱弁の中からは、そんなさもしい気持はひとカケラも見えだすことは出来ません。

同郷人のふれあいと結束にはかり知れない貢献をしました。また、自分が今日あるのは教育の力、傍島市五郎先生の指導のおかげである、母校の相内小学校にその胸像や図書購入費を毎年寄付し続け、学校ではこれを「傍島・吉田学校」と名付け、子供や父母から感謝されています。



弘前在住の市浦出身者が一堂に会して夜の更けるのを忘れて「ふるさと」談義。に花を咲かせました。

## しうらを語ろう

弘前に

## 「ふるさと会」を結成

活躍をしておられる吉田秀太郎さんの呼びかけで弘前在住の「市浦村出身者」と村長との座談会を開きました。

この会には村側から三重村長、高松企画財政課長、竹谷建設課長、佐藤民生課主幹らが出席し、夜の更けるまでふるさと談義に花を咲かせ、これを機会に弘前地方の「ふるさと会」を結成することになりました。

どんな人でもそこに住みたくなるような、あすまじい村をつくりたい。そんな願いを込めて村では、ふるさと運動を村づくりの主要課題として進めているが、この程、本村出身で産業振興に顕著な

当日は、吉田秀太郎、鳴海憲治、佐藤徳義、吉田純逸、傍島孝雄(以上相内出身)奈良忠彦(太田出身)三上敏衛、葛西廣(以上脇元出身)伊南裕雅、村元進、藤田武夫(以上磯松出身)加福登志夫、中井彦成(以上十三出身)の各氏が出席しました。

# 橋公園 構想

## ブリッジパーク

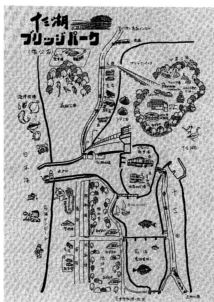
### 歩みはじめた

## 中島観光開発

十三湖中島に架かる木橋工事は、今年九月完成へむけて急ピッチで進められています。

五十八年度から二カ年連続事業で進められている仮称・十三湖中島遊歩道橋は、重機や資材運搬用の仮設道路も完成し、金属音を響かせて橋脚パイルの打ち込み作業が行われています。

橋が完成すると、約十町歩の中島には、中央広場の設置やキャンプ場、遊歩道などのほか、ビジターセンター、歴史民俗資料館の建設計画が検討されています。



中島に架かる木橋が完成すると  
一大観光地への夢がふくらむ……。

海と山と湖……。観光資源に恵まれている本村は、昭和五十年三月、津軽国定公園に指定され、十三湖と鮎元、磯松海岸一帯がそのルートとなり、観光客の入り込みも年々増加しています。

十三湖は、素朴な広がりの中に豊かな自然環境を包蔵し、未知の魅力秘めているが、資源の開発や施設整備も十分であることから地元住民、関係団体からは自然環境とのバランスのとれた新しい観光開発が望まれています。

### 歩道橋は九月完成

村では、地域の特色を生かした総合的な観光開発計画を進めるとともに、十三湖中島を中心とした橋公園（ブリッジパーク）構想を打ち出し、具体的な実施にむけて、スタートさせることにしました。

このほど着工した中島遊歩道橋（仮称）は、その一弾として架けられるもので、今年



十三湖中島遊歩道橋は9月完成をめざして、急ピッチで進められている。

九月末日までには完成させることにしています。

幅員三・二メートル、長さ二百五十十の木橋は、工事費一億四百万円。橋の欄干にアクセントをつけ、橋中央部には、たまり場を設けるなどの設計変更も検討中で、橋の上で水の流れるに昔をしのび、ふるさとを思い起こさせ、自然と語りあえるような橋にする予定です。

### キャンプ場や水族館も

橋が完成すると中島には、中央広場、キャンプ場などの

ほか、ゲートボール場、ローラースケート場を設置し、これだけではメリツがないため、十三湖や岩木川の魚介類を中心とした内水面の水族館を建設する計画です。

そのほか、遊歩道と展望台の整備や、歴史民俗資料館、屋外ステージ、ビジターセンター、レストハウスなどの建設計画も検討されています。

また、中島には安東一族ゆかりの遺跡が多いことから、歴史と観光を結びつけ、釣り、キャンプなどのレジャーから安東文化の史跡的まで、一大観光地帯の具体的な実現へむけてスタートしました。

NEWS

### 地域性を生かした観光

十三湖中島の観光開発構想が、新聞・テレビ報道されてきましたが、描いていた一つ一つの夢が実現していくことは素晴らしいことだと思うし、ぜひ、そうあってほしいものです。

しかし、開発によって美しい自然がこわされたり、整備されていく施設が観光客だけのものではなかったり、一部の人たちより利用できないものもあっては、なんにもならない。美しい自然と結びつけ、地域性を生かした観光開発を望みたいものです。

そして、村民のほとんどが造ったよかつたーといえるような施設整備をしてほしいと思います。

中島に渡る木の橋は、急ピッチで進められているが、長い間の夢であつただけに、その完成が待たれるこのごろです。



近藤 昌浩 (十三・26歳)







# をしています

役場の電話は  
62-2111番

職氏名	主 な 仕 事
係長 三和 省騰	生保、防災、老人福祉、日赤、遺族援護、労働、身障者福祉、保育所入所措置
係長 白川 隆治	国保資格得喪、事業勘定予算、国保庶務
主事 奈良 勝義	保健予防、保健計画、環境衛生、成人病対策、伝染病
主事 越谷 浩	国民年金、年金納付組織、児童扶養手当、特別児童扶養手当
主事 山崎 良子	国保給付、補助申請、月報、老人保健
保健婦 鎌田 明美	駐在保健婦
保健婦 野宮 富子	派遣保健婦

## ▶相内保育所 62-3163

職氏名	主 な 仕 事
所長 川口 定雄	保育所事務
保母 大沢ふみ子	保母主任
保母 長谷川裕子 俵子 佳子 秋田宮つと子	保母
給食婦 吉田 キミ	給食
用務員 葛西くみ子	保育所用務

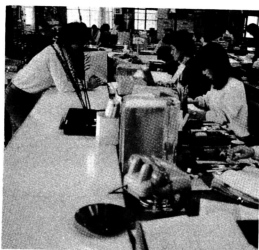
## ▶脇元保育所 62-2344

職氏名	主 な 仕 事
主任保母兼心得 長利 友子	保育所事務、保母主任
保母 山内 悦子	保母
給食婦 渡辺ゆき子	給食
用務員 佐々木礼子	保育所用務

四月一日付けで、役場職員の人事異動が発令されましたが、行政機構がどうなっている、各課の職員がどんな仕事をしているか、その主な事務負担をお知らせします。

仕事についての相談、要望、意見、わからない点などたくさんあると思いますが、気軽に相談してください。（電話については各課の内線をご利用ください）

## あなたの役場です



気軽においでください…。窓口風景

## ▶総務課 内線(25-31-21番)

職氏名	主 な 仕 事
課長 三上 富一	庁内総合調整、課内総括、人事管理、法制、公印管理、運営
係長 嶋海 文保	給与、共済組合、退職組合、職員福利厚生、車輛運行管理、公務員害、町内会
主事 本荘 博	物品管理、交通安全、運営、村有財産管理、消費流通、自衛官募集
主事 木村マリ子	窓口事務(戸籍、住民票簿抄本交付、人口動態、その他証明)外国人登録
主事 黒川 泰子	秘書業務、窓口事務(戸籍、住民基本台帳、人口移動、その他証明)
交換手 奈良ふみ子	電話交換手、窓口事務補助、交通共済、文書收受、広報無線
係長 嶋海 尚志	稅務庶務、滞納整理、稅務統計、納稅貯蓄組合
主事 高田 正嗣	村民稅、子算、法人稅、電氣稅たばこ消費稅、自動車重量稅
主事 鎌田 和廣	固定資産稅、家屋、債却資産の評価、村稅条例、各種台帳等の整理
主事 岡本 雪子	国民健康保險稅、木材引取稅、稅証明
運転手 新岡 新光	車輛運転、車輛整備管理
運転手 川口 秀樹	車輛運転
用務員 小笠原佐治 浜田 菊子	本庁用務

## 職氏名 主 な 仕 事

### 協元出張所

所長心得 村山 正臣	出張所で取扱う事務
用務員 棚引 智恵	出張所用務

### 十三出張所

主事 三和房之輔	出張所で取扱う事務、十三財産区
用務員 相川由紀子	出張所用務

## ▶企画財政課内線(32-26番)

職氏名	主 な 仕 事
課長 高松 隆三	課内総括、地域振興、予算編成、財政運営
主幹 三和 貞三	土地利用規制、統計、地域開発、事務改善
係長 安保 隆悦	予算編成、財政計画、地方交付稅村債、決算
係長 桑野 邦夫	広報広聴、遊樂振興計画、地域振興計画、山村振興計画、広域圏計画
主事 浜田 和幸	地方交付稅、公共施設状況、その他財政全般

## ▶民生課内線(34-35-36番)

職氏名	主 な 仕 事
課長 葛西安十郎	課内総括、施設(保育所、診療所、老人生きがいセンター)連絡調整、児童館長業務

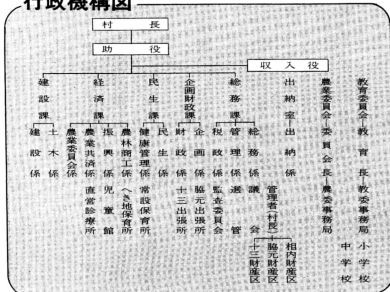
役場という一つの行政組織は、役場職員のためのものではなく、一部の住民のためのものでもありません。住民と地域全体の安全と健康、福祉など、人間の幸せを求めて、少ない予算で大きな効果上げていくという使命を持っています。

一つの事業を起し、行政を進めていく課程の中ではそれぞれ住民の間にも住民意識の違いや、価値感の違い、村が求めようとするものと、住民との間にいろいろなものも考え方が違ってくるのも事実であります。村では事務処理の合理化と人事管理の適正化に努めるとともに、おたがいの立場を尊重しあえる行政を進めています。

行政に住民の声を。あなたのご意見をお寄せください。

行政に  
あなたの  
声を

## 行政機構図



## こんな仕事

収入役 成田義衛 教育長 柏谷秀一



村長 三重 貴 助役 工藤誠一郎

## ▶ 出納室内線 (28-29・40番)

職氏名	主な仕事
主事 竹谷 裕治 技方ゆづり	出納会計事務

## ▶ 議会 内線 (25番)

主事 秋元 真	議会事務全般、監査、地元財産区 相内財産区
---------	--------------------------

## ▶ 教育委員会 62-3751-3016

会長 下山 時敏	総括、総務、海洋センター事務
係長 山内 守栄	学校教育
係長 成田 義正	社会教育、コミュニティーセンター 村史編さん委員会、山村広場
主事 石原 芳幸	社会教育、図書館
主事兼 三浦美智男	社会体育、海洋センター管理事務 コミュニティーセンター
用務員 石戸谷 武子	教育委員会用務
用務員 岩間定四郎 山田 春美	市浦中学校用務
用務員 工藤 良子	相内小学校用務
用務員 山田 いつ	駿元小学校用務
管理 安田善美代	寄宿舎管理
給食係 柏谷マツエ 三和 葉子	相内小学校給食
給食係 工藤 春子	駿元小学校給食
給食係 三和ハツエ 吉田 マサ 奈良ハルエ 土上キヨエ 亀田カツエ 佐藤 ヤエ	市浦中学校給食
給食係 工藤 チヨ	太田小学校給食
給食係 吉田 タケ 三和キヨエ	十三小学校給食

職氏名	主な仕事
主事 奈良 孝博	水田利用再編補助事務、保安林、 部分林、農業振興地域整備管理、 生活改善センター、国営林野活用 基幹集落センター
係長 長利 謙造	新設事業事務、家畜衛生、使用料 等調定及び徴収、水産振興、漁業 権、漁業災害
主事 奈良 典昭	草地造成、県営草地開発事業、国 営等草地開発附帯事業、自給飼料 生産総合振興対策事業
主幹 和嶋 定義	農業共済事業業務、農作物共済、 病害虫防止事業
係長 佐藤 祝男	家畜共済、任意共済

## ▶ 育成センター 62-2072

所長 下沢 恭三	育成センター事務、人工受精、家 畜改良増殖
運転手 秋田谷多郎 三浦 儀照 岡本 隆雄	機械作業の実施、維持管理

## ▶ 農業委員会内線 (37番)

係長 三和 徳衛	農業委員会事務
----------	---------

## ▶ 建設課内線 (46・50番)

職氏名	主な仕事
課長 竹谷 博則	課内総括、工事の企画、地籍調査 委員会、村営住宅供給委員会、用 地買収、工事入札契約
係長 斉藤 修一	土木、道路、河川、除雪、土木河 川災害復旧
係長 古川 肇	公営住宅、建築、漁港、都市計画
主事 一戸 俊一	農業土木、農業土木災害復旧
主事 山田 達二	国土調査、土木災害復旧
技師補 成田 勲	簡易水道維持管理
主事補 葛西 達也	簡易水道維持管理

## ▶ 十三保育所 62-2038

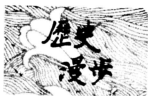
職氏名	主な仕事
所長心得 高橋 浩子	保育所事務
係長 森野 尚子	保育主任
係長 三上 久恵	保育
係長 相川みどり	保育
給食係 豊島 サチ	給食
用務員 湊 いづみ	保育所用務

## ▶ 診療所 62-2009

職氏名	主な仕事
診療所長 崔 岳岳	内科診療
歯科医師 白 洪鎮	歯科診療
看護係 藤田 リツ 今 裕子	看護
事務係長兼相談 嶋海 善	診療所事務総括、X線機業務
主事 野野川 洋	診療所事務
看護係 今 ハツエ 亀田恵美子	看護

## ▶ 経済課内線 (27-38-39番)

職氏名	主な仕事
課長 松江 幸勝	課内総括、農業委員会、農業振興 推進委員会、漁業振興推進委員会 農業共済事業運営協議会
係長 中居 松男	水田畑作振興、農林水産商工観光 団体指導、地域農業生産総合振興 対策



▶63◀

# 法燈への道 (9)

## 典・島根の光



琴湖岳遺跡出土の珠洲焼片

### 遺物は不足

神社跡、寺院跡については前号までに話しましたので、今号では遺物としてどんなものが出土したかを話しましょう。東北学院大学教授の加藤孝先生から詳細な論文を頂戴しました。元来宗教遺跡では遺物が思ったよりも少ないものだという事です。次に列挙してみまします。

### 遺物

- (1) 青銅製飾金具片(あるいは金銅製飾金具片) 焼失破片 一点 日吉社拝殿跡
- (2) 鉄製釘残片(頭部残片) 一点 寺院跡軒部(北北)
- (3) 青磁製陶片(御深井香が破片) 三点 日吉社拝殿跡南東部

(4) 壺陶片 三点 日吉社本殿跡

(5) 浅鉢型陶器破片 一点 前同様場所

(6) 陶製大甕破片 二点 前同様場所

(7) 甕破片 一点 前同様場所

(8) 陶片鏝 一点 寺院跡

(9) 焼木片、炭化木片 若干 日吉社本殿跡、拝殿跡、寺院跡

となつていきます。

### 時代を決める遺物

これらの遺物中、(2)の鉄釘は時代不明となつていますが、出土したのは焼木片、炭化木片含有の土層中なので、寺院に使用されたことに間違いないと見えます。その他の遺物は鎌倉中期末期から室町時代のものばかりで、山王坊の神社、寺院がこの時代の建造物であることを確弁に物語っています。

加藤先生がこれらの遺物を丹念に御調査なさったのも実はこの時代判定の決め手を得るためだったものと思われまします。

### どんな焼き物

(1)の金具は拝殿に使用した飾金具で、宝相華文に、唐草文の線刻ながわ彫文をきざみ、空間に魚子文をもつてうすめる手の籠んだ技法でそでで中世中期から後半期のものだと推定されています。

(3)から(6)まではどれも陶器類の破片で、(3)は青磁製の円筒形をした香炉形のもので三本の脚がついていたものらしいです。鎌倉末期から南北朝期のもの。(4)は中世の常滑焼、(5)は中世の能登珠洲焼、(6)の壺に(5)のふたを流したものでないかと推定されています。日吉社の鎮壇具として使用されたものでしょう。鎌倉中期から南北朝頃とされています。以下省略しますが、十三安東水軍によつて運搬された可能性がります。安東船が日本海を自由に交易航行したことを証明するような焼き物ばかり使用されているたのもしく感じられます。法燈の道をオセトへと運んでいきます。

### 津軽のことわざ

ねの部

ね二層<sup>ネノイ</sup>で背中<sup>セナカ</sup>、ねこは以前獲具<sup>ウケツ</sup>のたわり<sup>タワリ</sup>に用いた。十三海<sup>ミナト</sup>でとれ、俗に十三ね<sup>ミナト</sup>と呼ばれた。そのね<sup>ネ</sup>を着て背中<sup>セナカ</sup>をまるめて、寒がっているさま。

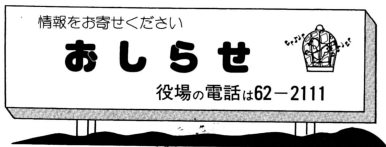
猫にかつ節<sup>ネノイ</sup> 好物をそばにおいてはお断<sup>ツグ</sup>ならぬたとえあやまちを起こしやうい状況であること。

猫に魚<sup>ネノイ</sup>の番<sup>イ</sup>させる 猫にかつ節<sup>ネノイ</sup>と同じ。猫の居るは屋根の上<sup>ネノイ</sup>、鳥の居るは木の上<sup>ネノイ</sup>、それぞれ好むところがある。

猫の手<sup>ネノイ</sup>サ餅<sup>サモシ</sup> 不器用なことのためと云。

猫の目<sup>ネノイ</sup>玉<sup>タマ</sup>と秋<sup>アキ</sup>の空<sup>ソラ</sup> 変わりやすことのためと云。(参考) 女心<sup>メノココロ</sup>と秋<sup>アキ</sup>の空<sup>ソラ</sup> )

猫<sup>ネ</sup>通<sup>ト</sup>るより血<sup>チ</sup>腥<sup>シ</sup> 猫をつるさく追<sup>オ</sup>い払<sup>ハ</sup>うより、魚<sup>イサ</sup>の入<sup>イ</sup>った皿<sup>イ</sup>を捕<sup>ト</sup>らぬ猫<sup>ネ</sup> 役に立たぬもののためと云。



## 知っていますか 図書室のあることを

コミュニティーセンター内に図書室があることを、ご存知でしょうか。図書室には、現在860冊の本があります。蔵書はまだまだ十分ではありませんが、徐々に貸出しも増えて、3月中には82冊の本が村民に読まれました。

しかし利用者は、一定の人に限定されているくらいがあり、村民生活に密着した図書室というにはまだ、ほど遠いのが実状です。

図書室は、村民の一番身近な知恵袋であり、気軽に立ち寄る憩いの場所でもあります。

もっと多くの方が、積極的に図書室を利用し、家族全員で読書生活をエンジョイしてほしいと思います。

(図書室は、コミュニティーセンター内、毎週月曜日～土曜日、午前10時～午後4時)

## お母さん忘れないでね 乳幼児健康診断

日時 5月9日 13:30～15:30  
場所 基幹集落センター

対象 昭和58.5.1～昭和58.12.10生  
車送迎○脇元、磯松の方は患者輸送車をご利用下さい。

- 十三公民館前13:10
- 太田(古川商店)前13:35
- 桂川(秋久宅)前14:00

個人通知をしませんからご注意ください。母子手帳をわすれないように。

今後は教育委員会の皆さんと共に、「紙芝居」や「親子で読書の会」を、定期的に実施していきたいと思っております。本の読み聞かせや紙芝居をやってみないかと思っている人がいましたら、いっしょにやりませんか。協力して図書室を盛り上げたい仲間を待っています。

## 発行しています 図書館の共通利用券

図書の利用が多様化し、資料が急増している現在、単一図書館による資料提供に限界があるので、青森県図書館連絡協議会では、公共図書館の所蔵する資料の相互貸借制度を4月1日から実施しました。この相互貸借制度は、単独の図書館で応じられない利用者の申し出に対し、県内の他の図書館資料を借り受けて、サービスするものです。

県内の公共図書館を利用したい方は市浦村教育委員会(電話62-3751)に相談してください。県内どの図書館からでも借りられる共通利用券を発行します。

## 水銀汚染防止

### ボタン型電池は回収します

家庭などで使用されていた乾電池はこれまで、普通ごみと一緒に持ち込まれていましたが、乾電池の使用量の増大に伴って「水銀含有による環境汚染」の問題が懸念されています。

水銀含有量の多い使用済みボタン型電池は、「有害ごみ」として扱われることになり、電気店、小売店などの協力で全面回収することになりました。乾電池の回収は国とメーカーの間で合意されていますが、いまのところ水銀含有の多いボタン型に限られています。使用済み乾電池(ボタン型)は、日常のごみに混入せず、電気店や



たのしいおひさま日記のじかんです。おひさまの日記をすきでしよう。

小売店へ届けるようにお願いします。

## 農業日雇賃金が 機械等賃借料 きまりました

ことしの農業日雇賃金等の標準額が次のとおりきまりました。

### 農業作業日雇賃金

作業別	標準額 1日(8時間)	備考
水田一般作業	3,500円	○実働8時間標準 ○朝なし
水田苗取	4,000円	
畑苗取	3,500円	
田植え	4,000円	
稲刈り	4,000円	
畑一般作業	3,500円	

### 機械等賃料(金額は10ヶ当り)

作業別	標準額	備考
田耕起	4,300円	1回耕起標準
荒かき	3,800円	1回荒かき標準
代かき	3,600円	1回代かき標準
荒かき～代かき	6,000円	
耕起～代かき	10,000円	
畑耕起	5,400円	2回耕起標準
田植	5,500円	朝なし
パイプンダー	8,000円	朝なし
ハイペースター	6,500円	朝なし
コンバイン	16,000円	-
自動脱穀機	5,000円	-



## 親子で 図書室に



笹森 泉さん  
(相内)

広報ローリー

昨年6月、富山県から嫁いできましたので、市浦村に關しては、ほとんど無知の状態です。少しでも村になじむことができればと思います。図書室のお手伝いをしています。図書室で村の子供たちやお母さん方に会えるのが、一番の楽しみです。



▶ 1 ◀

## 死因の一位はガン

多いのか、病気を予防するために何をすれば良いのかをのべましょう。

ことしは、村の健康診断の結果などについて、新しい情報をお伝えしていく予定です。

今回は、市浦村の五十八年の死因のまとめから、村ではどんな病気で亡くなった人が

多いのか、病気を予防するために何をすれば良いのかをのべましょう。

### 死因順位でみた死因別死亡数

死 因	市浦村		郡 (5,67)		青森県 (8,87)	
	順位	人数	順位	人数	順位	人数
悪性新生物	1	8	1	216	1	1,671
心臓病	2	7	2	150	2	2,211
脳血管疾患	3	5	3	150	3	1,671
肺炎	4	4	4	125	4	44
糖尿病	5	4	5	44		
老衰	6	2	6	4		
その他	4	2	4	2		
計		32人		893人		9,863人

## 手ごたえある

### 住民の反応を期待

派遣保健婦 野宮 富子

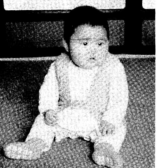


不慣れな地域への不安と、通勤が大変だ、というところあたりまでのことを含めて、市浦村派遣の話が出された時はさまざまに思いが、頭の中をよぎりました。

僕できないのですが、家族に負担をかけないで、安楽に成仏したい。それは誰もが願うこと。そのためにはまず、自分の生活態度をふり返り、点検してみよう。『医食同源』という古いことばがあるように、食生活は医学に通じているもので、再認識したいものです。

の健康は自分で守るのを motto に、住民の健康管理と、保健指導に心がけたいと思っています。

秋田谷 謙雄さん (桂川) 長男 正人ちゃん (8ヵ月)



おくやみ

映る広々とした田園と、静かにたたずむ十三湖、ゆったりとした残雪のある牧場の景観は私の心をなごませ、快適な通勤をさせてくれます。

そのためには、やはり地域の住民の中に溶(と)け込まないことも十分な指導はできないとも思っています。

担当区域は、相内、桂川、太田の三地区ですが、先天的な方向オンチの私にとって、あつちこち迷いながらの家探しにも、住民の親切さが身にしみていくところですね。

おくやみ

### 戸籍の窓

お誕生

三橋 正拓 (磯松)	清	三上 依市 (脇元)	82歳
神崎 紗綾華 (相内)	真佐美	大田 きよ (磯松)	64歳
小寺 田希子 (十三)	光明	葛西 そよ (磯松)	91歳
本庄 和也 (十三)	博	三浦 直吉 (相内)	81歳
鳴海 わか奈 (金)	務		

亀田 博幸 (東京)	三浦 正勝 (相内)	山本 牧子 (京都)	三浦 隆代子 (東京)
三上千鶴子 (岩木)	濱田 隆行 (十三)	一戸 仁五所川原	葛西 眞百美 (脇元)
葛西 峰子 (脇元)			

菅原 豊彦 (山形)	鈴木 浩一 (群馬)	三橋 みつ子 (十三)	相川 征昭 (十三)
福田 真利子 (十三)	秋田谷 重春 (桂川)	山田 育子 (脇元)	南場 正貴 (北海道)
小山 茂美 (十三)			